

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2001-514198 (P2001-514198A)

【公表日】平成 13 年 9 月 11 日 (2001.9.11)

【出願番号】特願 2000-508333 (P2000-508333)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 7/13

【F I】

A 6 1 K 7/13

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 26 日 (2005.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

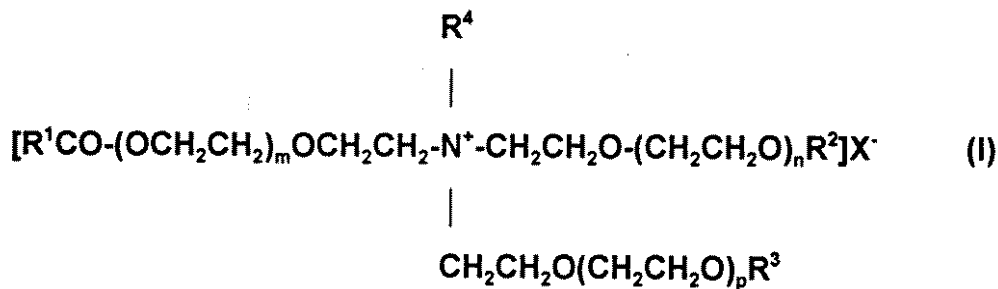
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ケラチン繊維染色用の製剤を製造するための染毛料用の乳化剤としてのエステルクォートの使用。

【請求項 2】 式 (I) :

【化 1】

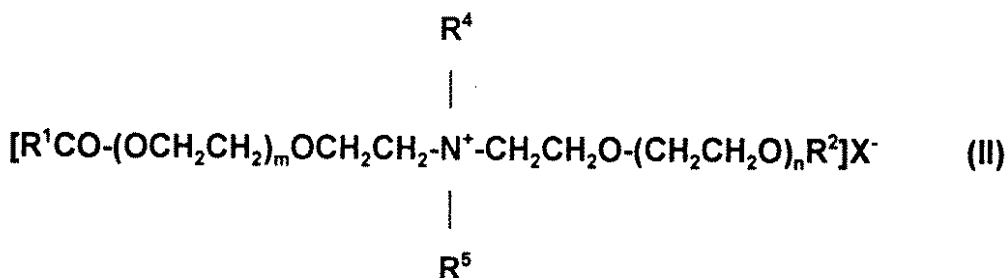


[式中、 R^1CO は炭素数 6 ~ 22 のアシル基であり、 R^2 および R^3 はそれぞれ、水素または R^1CO と同意義であり、 R^4 は炭素数 1 ~ 4 のアルキル基または $(CH_2CH_2O)_qH$ 基であり、 m 、 n および p は、いずれも 0 であるか、または 1 ~ 12 の数であり、 q は 1 ~ 12 の数であり、 X はハライド、アルキルスルフェートまたはアルキルホスフェートである。]

で示されるエステルクォートを使用する請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】 式 (II) :

【化 2】

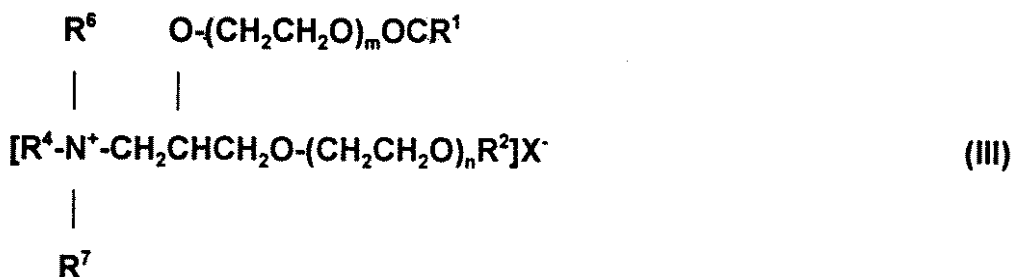


[式中、 R^1CO は炭素数6～22のアシル基であり、 R^2 は水素または R^1CO と同意義であり、 R^4 および R^5 はそれぞれ、炭素数1～4のアルキル基であり、 m および n は、いずれも0であるか、または1～12の数であり、 X はハライド、アルキルスルフェートまたはアルキルホスフェートである。]

で示されるエステルクォートを使用する請求項1記載の使用。

【請求項4】 式(III):

【化3】



[式中、 R^1CO は炭素数6～22のアシル基であり、 R^2 は水素または R^1CO と同意義であり、 R^4 、 R^6 および R^7 はそれぞれ、炭素数1～4のアルキル基であり、 m および n は、いずれも0であるか、または1～12の数であり、 X はハライド、アルキルスルフェートまたはアルキルホスフェートである。]

で示されるエステルクォートを使用する請求項1記載の使用。

【請求項5】 エステルクォートを製剤に対して0.1～5重量%の量で使用する請求項1～4のいずれかに記載の使用。

【請求項6】 直接染毛料または酸化染毛料を使用する請求項1～5のいずれかに記載の使用。

【請求項7】 染毛料を製剤に対して0.001～1重量%の量で使用する請求項1～6のいずれかに記載の使用。

【請求項8】 炭素数6～18の脂肪アルコールから誘導するゲルベアルコール、直鎖 C_{6-22} 脂肪酸と直鎖 C_{6-22} 脂肪アルコールとのエステル、分枝状 C_{6-13} カルボン酸と直鎖 C_{6-22} 脂肪アルコールとのエステル、直鎖 C_{6-22} 脂肪酸と分枝状アルコールとのエステル、直鎖および/または分枝状脂肪酸と多価アルコールおよび/またはゲルベアルコールとのエステル、 C_{6-10} 脂肪酸トリグリセリド、 C_{6-18} 脂肪酸の液体モノ-/ジ-/トリグリセリド混合物、 C_{6-22} 脂肪アルコールおよび/またはゲルベアルコールと芳香族カルボン酸とのエステル、植物油、分枝状第一級アルコール、置換シクロヘキサン、直鎖 C_{6-22} 脂肪アルコールカーボネート、ゲルベカーボネート、安息香酸と直鎖および/または分枝状 C_{6-22} アルコールとのエステル、ジアルキルエーテル、エポキシ化脂肪酸エステルのポリオールによる開環生成物、シリコン油、および/または脂肪族もしくはナフテン族炭化水素から成る群から選択する油をも使用する請求項1～7のいずれかに記載の使用。

【請求項9】 油を、製剤に対して10～70重量%の量で使用する請求項7記載の使用。